

レジリエンスジャパン推進協議会/TKP ガーデンシティ永田町

6月16日に上記会議に出席してきました。

内閣府直属の協議会で、医療部門の提言をまとめるサブWGという位置付け、私が座長を仰せつかり、DMAT・日本赤十字社・リハビリチーム JRAT・自衛隊それに保険衛生科学院と厚労省も参加しての論議です。

常総市の水害や熊本地震での、発災直後の病院移転の困難さと、その中で医療多職種連携を完遂した現場の努力と問題点が論議されました。メンタルケアやリハビリチームの初期からの関与が避難民や避難所対策上極めて有効であった事も確認されました。

従来以上に多様なチームが活動して避難民のニーズに応えている現状から、ICS災害時総合調整システムを活用しながら、県災害対策本部と現場事務所との連携調整の元に活動できる様にする方向が必要であるとされました。このためには、コーディネート研修会を始めとする多職種の連携推進のための研修事業と、避難者や要援護者そして避難所情報の統一化、それをもとにしたIT通信その他のインフラ整備を進めるべき、という方向性が見えました。

この内容は、親会議の提言に盛り込まれる、次年度予算化に参照される事になるはずです。